



わんにゃん新聞



文責：看護師 古賀



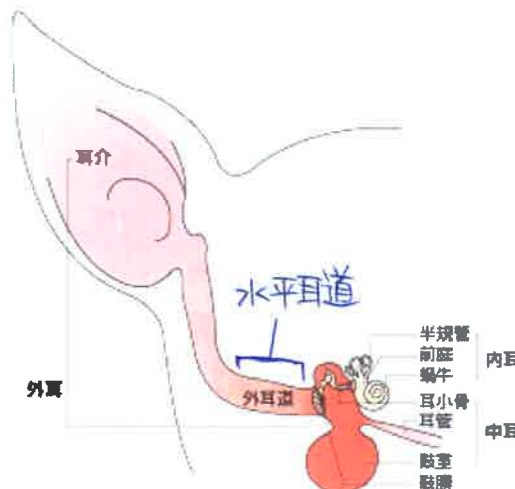
皆さんこんにちは！
 4月に入り、やっと春らしくなってきましたね。
13度以上の気温になると、ノミは活発化します。
予防を忘れずに！！
 今回のテーマは『耳』です。



外耳炎に注意！



春から夏の暖かい季節になると、外耳炎になるコが多いので注意が必要です。
 外耳炎になると、ひどいかゆみや不快感で後ろ足でかいたり、
 耳をふったり、頭を傾けるようになります。
**そのまま放っておくと、耳の穴の皮膚が厚くなって
 外耳道が狭くなり、ますます悪化してしまいます。**
 そうなってくると治る時間もかかりますので
 早期治療をおすすめします。



ワンちゃんやネコちゃんの耳は人間と違って外耳道が
 L字型になっており、途中から折れ曲がって横方向に
 進んでいきます。(水平耳道)
 この部分に汚れがたまりやすく、細菌や真菌(カビ)の
 増殖を招きやすいです。
 たれ耳のコは立ち耳のコより通気性が悪いので
 特に外耳炎になりやすいので注意が必要です。

真菌や寄生虫が原因の場合、全身にうつってしまう場合があります。

耳がかゆいので後ろ足で耳をかく(後ろ足にうつる)→後ろ足でお腹をかく(お腹にうつる)→



→後ろ足を舐める(口周りにうつる)→前足を舐める(前足にうつる)→全身へ



西川動物病院
 43-0200



ご意見・ご感想お待ちしております!
 info@on-vet.com

耳そうじの注意!!

『外耳炎にならないように清潔にしくちゃ!』

と毎日綿棒を使ってゴシゴシしては外耳炎の素を作ることになります。

綿棒を使うと、外耳道を傷つけたり、
汚れをおくに押し込んでしまうことがありますのでやめましょう。

日ごろのお手入れは耳介を脱脂綿でやさしく汚れをふき取ったり、
イヤローションなどを耳に垂らしてクチュクチュともむ程度で充分です。
あとは、本人が耳をプルプル振るだけで汚れは自分で出て行ってしまいます。



ヒトとイヌとネコの耳の違い

耳が音として感じられる周波数帯域のことを「可聴域」といいます。

人の可聴域は2万ヘルツ、犬は4万ヘルツ、
猫は6万ヘルツまで聞き取ることができます。

小さな音を聞き取ることも犬は人の4倍、

猫はそれ以上だといわれています。

たまに何もないところをじっと見つめていることはないですか？

もしかしたら、人に聞こえない音が聞こえているのかもしれない。



ANIMAL
トリビア: パンダは成長すると80~160kgにもなるが生まれたばかりは100~200gしかの体重がない。

塚崎トレーナーのしつけのいろは

文積：塚崎

《第4回：ムダ吠え(鳴き)》

私たちにとって耳障りでムダな声でも、犬たちにとっては無意味でムダな鳴き声はありません。

今回は、サークルで飼っている場合に気になる鳴き声についてです。

- ①外出時、就寝時にさみしそうに鳴く
- ②家族が部屋にいて犬がサークルに入っているときに吠える(暴れる)

この2つはどちらも飼主さんの気を引くための行動です。

このときにもし、「かわいそう」「うるさい」という理由でサークルの近くに行って“声をかける”

又は“サークルから出す”事をすればそれは「犬の要求を受け入れた」ことになります。

ムダ吠えをやめさせようと本当に思うなら、心を鬼にして無視し続けてください。

たったこれだけです。それと同時に下のようなことも考えてみてください。

- ①就寝時、飼主さんが大丈夫であれば一緒に寝る。
(イタズラやトイレなどの心配がない場合のみ)
- ②サークルを置く場所→テレビの近くなど人の視線が集まる場所は避ける



サークルのような狭い場所に犬を閉じ込めるのはかわいそうだと思われる人も多いと思います。

しかし、サークルは犬にとって安らぎの場であり、

誰にもジャマされない安全な自由にできる場と認識させてください。